



まあひといきついで、行きんさいや〜。 ようこそお参り〜持光寺編〜

ご利益
延命祈願

この阿弥陀如来様は、「五劫思惟阿弥陀如来坐像」といって、修行時代に長い長い時をじっと思惟をこらして修行した結果、あまりに長い間、修行をしたため髪の毛がくるくるとうず高く積み重ねられ、このような頭の形になり阿弥陀様とられたのです。



ご本尊 五劫思惟阿弥陀如来様
お念仏 南無阿弥陀仏



本堂の前に来たら、お賽銭をして、ご本尊の阿弥陀如来様に手を合わせ、お念仏を10回唱えましょう。

②



山門（石門）の前で一礼してからお寺に入りましょう。

①

持光寺さんのお参り方法



頭がアフロな
阿弥陀様！

「五劫思惟阿弥陀像」は、全国的に作例が少ない、珍しい仏さまです。

普賢延命様は、一度拝むと寿命が延びるといわれており、国宝にも指定されています。現在、公開は残念ながら出来ませんが、今までに幾度か公開されているので、これからも公開のチャンスを見逃さないように要チェック！

国宝・絹本着色普賢延命像



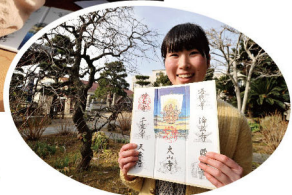
③

ご朱印をいただきます。



黄水晶
(ジトリン)

本堂から右手側に歩いていくと納経所があるので、ここでご朱印を頂きましょう。



四季折々の花木

別名「あじさい寺」ともいわれる持光寺さん。季節になると、色んなあじさいの花が色とりどりに咲き誇ります。玉蘊さん遺愛の「蘇鉄」も緑豊かに生い茂り、他にも「枝垂れ梅」「白木蓮」「凌霄花（のうぜんかずら）」「酔芙蓉（すいふよう）」「アンデスの乙女」「早蓮木（かんれんぼく）」が季節ごとにお寺を彩ります。

右仏左は銭と
合わす手の
仲ぞゆかしき
南無の一声

この言葉に倣い、
左手で自分の仏
様を作ります。



にぎり仏

持光寺さんといえば、この「にぎり仏」さまが有名で全国各地から来られます。心をこめて握り、自分だけの仏様が作れます。作り方も丁寧に教えて下さり、作った後は、ご住職様がお寺の窯で心を込めて焼いて下さいます。どんなふうに出て上がるか楽しみです。

見どころスポット



うまく握れるかな？



最初に
ご住職様が
作り方を教えて
くださいます。



次は、お顔を
作ります。

完成！

平田玉蘊の墓

江戸時代に生きた女流画家・平田玉蘊のお墓があります。現在も毎年6月20日には「玉蘊忌」という法要が持光寺さんで行われています。尾道では「玉蘊（ぎょくおん）さん」で親しまれ、日本画で花鳥画を得意としました。現代の尾道でも、玉蘊さんの作品を愛する方がたくさんいらっしゃいます。





まあひといきついで、行きんさいや〜。 ようこそお参り〜天寧寺編〜

ご利益
病氣平癒
祈願

天寧寺さんのお参り方法

①



本堂の前で一礼してからお堂内に入りましょう。

②



ご本尊 釈迦牟尼仏様
南無釈迦牟尼仏

びんずるさまに手を合わせ、悪いところをさすりながら念じます。

③



腹痛などが
少なくなりますように。

本堂を上がる階段に「旅の思い出ノート」が置いてあるので、あなたの思い出のワンシーンを書いてみましょう。

④



ご朱印をいただきます。



螢石
(フローライト)

本堂から右手側に庫裏があるので、ここでご朱印を頂きましょう。

五百羅漢堂

庫裏に入ったら巨大な木魚があります。これは昔、この木魚を叩いて時を告げていました。魚のお中の部分が叩かれてへこんでいるのが分かります。



こんなに大きい！



後ろ向き
どこかわかるかな？
の羅漢様がいらっしやいます。



五百羅漢堂に入ると、「五百羅漢様」が天井に届くほどたくさんいらっしやいます。昔、尾道の豪商達が寄進したと言われ、羅漢様お一人お一人のお顔が、全て違います。誰かに似た羅漢様がいらっしやるかも。天井に描かれている絵も、ひっそりとすてい天井絵を見ることが出来ます。

重文・三重塔 海雲塔

天寧寺さん見どころの中でも格別スポット。境内から塔へ続く「天寧寺坂」も尾道ならでは！のんびり散歩気分が最高です。



毎週火・木曜日
朝6時半より
無料

座禅会

早朝の気持ち良い時間帯に、静かに目を閉じ、精神統一をしてみましょう。



見どころスポット



もちろん牡丹も
おさえておかなきゃ！

枝垂れ桜

毎年桜の季節には多くの観光客の方が訪れます。この大きな枝垂れ桜は必見！

桜：4月初旬頃
牡丹：4月下旬頃



天寧寺さんの枝垂れ桜といえはば
桜で有名な尾道屈指の名所の1つ。

山門からの風景

山門をしゃがんで見ると、その向こうに天寧寺さんの三重塔と千光寺さんを見ることが出来る、隠れたビューポイント！他の場所で自分だけの風景探しも楽しいかも！





まあひといきついで、行きんさいや〜。 ようこそお参り〜千光寺編〜

ご利益
諸願成就

千光寺さんのお参り方法

①



仏様をお参りする前に、まず身を清めます。柄杓で水をすくって片方ずつ手を洗います。その後、口をゆすいだら、心を落ち着けて本堂へ向かいましょう。

②



板の無事を願って…
カメラのピンントを合わせる前に、
まず、仏さまへ手を合わせましょう。

ご本尊千手観音様ご真言
おんばざらたらまきりく

③



お参りの後は、お守りをお求め下さい。あなたにピッタリのお守りが見つかるかも。おばちゃんが説明してくれますよ。

一緒に記念撮影して
いただいちゃいました。

"目が出る"
ダルマのお守り。



わらわの背中に
願い事を書いて
お供えすると
願いが叶うと
言われておるよ。



お守りや絵馬に
ご縁を頂きましょう。



どの絵馬に
書こうかな〜。

かわいいキャラクター
の絵馬もたくさん！

瑠璃
(ラピスラズリ)

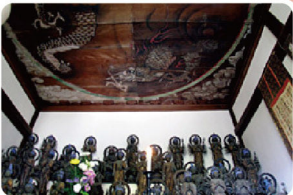


ご朱印をいただきます。

④

三十三観音堂

西国観音霊場の御本尊様が
お祀りされています。お
堂前の大念珠を幸せを念
じながらゆっくり引くと、
煩惱を打ち消して、観音
様の御加護が頂けます。



カチ・カチ・カチ…
幸せになりますように。

くさり山 (奉納料 100円)

石鎚山に取り付けられている
鎖を登ると、本堂とは違う一段
上からの素晴らしい眺めと、奇
岩が楽しめます。



登るときは、スニーカーなどの
歩きやすい靴がいいね。

水琴窟

涼しげな水の音が
します。癒しの音を
きいてみよう。



鐘楼

日本の音風景百選にも選
ばれているこの鐘の音は、
志賀直哉の『暗夜行路』に
も書かれ、今では 18 時に
なると千光寺から鐘の音
が響き渡っています。



鐘 18 時に
お寺に
いれ
ば、
もう
か
い
は
て
ま
す。

見どころスポット

鼓岩

別名「ボンボン岩」と呼
ばれ、岩の上を石で打つ
と「ボンボン」と鼓のよ
うな音がします。右側の
岩の傷は大阪城築城の時、
石垣材として搬出する
べく割りかけたノミの
跡といわれています。





まあひといきついで、行きんさいや〜 ようこそお参り〜大山寺編〜

ご利益
合格祈願

大山寺さんのお参り方法



③

ご本尊 日限地藏菩薩様
おん かかひ
さんまえい そわか

お願い事をして、お地藏様を持ち上げます。
願い事が叶う時は軽く、叶わない時は重く
持ち上げます。



②

まずは心静かに堂内正面に座り、
お賽銭をしてご真言を3回唱えます。
それから脇のお地藏さまの前で、
お願いしましょう。



①

最初に手を洗い、お線香とローソクを
灯しましょう。地藏堂正面でワニグチ
を叩き、お堂へ入りましょう。

日限地藏様



こうしんどう
庚申堂



庚(かのえ)申(さる)の日を意味していて、悪い事を
したら、人間の体の中にいる虫が天に告げ口をし、
罰として寿命が縮められてしまうそう。だから庚申
の日には徹夜してお参りされているそうです。商売
繁盛・火難・盗難除・長寿の御利益、おあります。

ご朱印をいただきます。



⑤

納経所に行き、ご朱印を頂きましょう！
受験前や、試験などの前にはお念珠
パワーに合格祈願。

赤瑪瑙
(カーネリアン)



④

「おさすり観音様」は、自分の体の悪いところ
を触ると癒してくれると言われていま
す。観音様のパワーを頂いちゃいましょう。



この桜の木は、あかりちゃんがかけて
大山寺さんに来たときに植樹したんだ。



住職役で出演した尾築としのりさんが
植樹をした桜もあります。



NHK・朝ドラ「てっぺん」の梵鐘

ヒロイン・あかりのお父ちゃんのお友、隆円さんのお
寺の舞台になりました。ドラマの中であかりが突いた
梵鐘です。(※鐘をつきたい人はお申し出下さい)



見どころスポット

21世紀の新三猿像

「見ざる、言わざる、聞かざる」とは真逆の「見て猿、言うて猿、
聞いて猿」世の中の正しいことを「よく見よう」「よく言おう」「よく聞こう」という願いがこもっています。写メして待ち受けにしてお守りにすると幸せが訪れるといわれています。



西國寺さんへの近道はコチラ。



大山寺さんの隣の坂を上って右に曲がります。
ずっと道なりに歩いていくと、西國寺さんの金堂
付近に着きます。

境内からの風景

境内から見える麓の
ひしめき合った町並み。
向かいの千光寺
さんのロープウェー
や天寧寺さんの塔など、
なんとも尾道らしい
風景を見る事が
出来ます。



THE 尾道って感じ！



まあ ひといきついで、行きんさいや〜 ようこそお参り〜西國寺編〜

ご利益
健脚祈願

西國寺さんのお参り方法

①



仁王門（山門）の仁王様に、一礼をしてから向かいます。



②



百八段あるといわれる階段。仏様の元まで修行あるのみ！

③

金堂

真言宗のお寺は修験として知られており、お寺は仏の世界を現します。修験なので、そこに辿り着くまでも修行あるのみ。ひたすら上りましょう。そこで見た尾道の風景も格別です。



重文

ご本尊薬師瑠璃光如来様 御真言
おん ころころ せんだり
まことづき そわか



金堂でワニグチを鳴らしてお賽銭をし、手を合わせます。ご真言は3回唱えましょう。

大師堂

大師堂ご本尊弘法大師様 御真言
南無大師遍照金剛



境内に着いたら、左手に見えるお堂に向かいます。お堂に入り、お賽銭をしてから手を合わせます。ご真言は3回です。

「大日如来坐像」「上田桑鳩書・襖」「真言八祖」など説明を聞きながら、多くの文化財をご覧ください。(500円)

内部拝観



ご朱印をいただきます。

持佛堂で、ご朱印を頂きましょう。お念珠もここで手に入られます。

紫水晶（アメジスト）



わらぞうり 1組 1,200円

奉納わらじ

仁王様のたくましい足にあやかって、大勢の方がお参り下さっています。(納経所にて受付)



初祈禱火渡り柴燈大護摩法要

「火渡り神事」ともいわれ、1年間の息災を願って毎年1月8日に行われます。参拝にお越しくださった方も健康を願い火渡りして頂けます。



見どころスポット

子授けお守り

お札

御祈禱をお申込み頂くと、お守りとお札が頂けます。

子授け地蔵

金堂右奥におられるお地藏様は、子宝のご縁を結ぶといわれるお地藏様です。子宝のご縁を求めて、全国から多くのご夫婦がお参り下さいます。(ご祈禱料 15,000円)



子供が無事生まれました！



びっくりともしない重さ！持ち上げてた昔の人はすごい！

カ石

昔の尾道では、重いものが運べる事は、仕事がいり出来る事につながるため、どれだけ重いものを持てるか、基準となる石を使って競っていたことがありました。その石が、ここ、西國寺さんにも残されています。

鬼はく外！福はく内！



星祭節分会

毎年2月3日・金堂にて



節分の日には、法要の後、袈姿の年男や年女の方達によって、1年の息災を願って福豆がまかれます。



まあ ひといきつて、行きんさいや〜。 ようこそお参り〜浄土寺編〜

ご利益
必勝祈願

浄土寺さんのお参り方法

① 本尊十一面観音様ご真言
おんまかきやるにかそわか



お堂内に入ったら、お賽銭をしてから手を合わせ、ご真言を3回唱えましょう。



本堂に向かいます。お堂にあがる時は、靴を靴箱に入れます。心静かに、お堂の中に入りましょう。風が強い時など、扉が閉まっていたりすることはありますが、拝観時間内であればどうぞ扉を開けてお参りください。

② 山門越しに見える尾道水道の景色は、映画のワンシーンのよう。



お寺に入る前、山門のところで一礼してから入ります。境内も美しいですが、一度振り返ってみてください。天気の良い日は特に心落ち着く風景が広がっていることでしょう。



おみくじ

お参りが終わったら、お堂内にあるおみくじをひいてみましょう。おみくじは、その時々自分の必要な事を教えてくれるものだから！



ご朱印を済ませてお守りを買ったら、僕たちとも遊ぼうよ！



とっても人なつっこい鳩たちです。売店の近くに、鳩のエサ箱(1袋30円)があるので一緒に遊んでみよう。

その昔、白い鳩が足利尊氏を勝利へと導いたとか。もし、白い鳩がいたら必勝間違いなし！



④ ご朱印をいただきます。

お守りを販売している売場にいる浄土寺の名物おじちゃん(レッドタイガーアイ)から、ご朱印を頂きましょう。



絵：御住職様

紅琥眼石



見どころスポット



夕陽の小道

浄土寺さんの山門前の道は、夕焼けがとってもきれいに見える絶景ポイントの1つ。



浄土寺庭園

内部拝観 (拝観料 500円)

江戸時代以前に作られた大変貴重な庭園や、方丈の間、阿弥陀堂の拝観などをご案内致します。庭園には、かの武将・豊臣秀吉が愛用した「燕庵」の写しと伝えられる茶室・露滴庵を望むことができます。本堂内の受付までお申込みください。



方丈の間



阿弥陀堂

阿弥陀堂の不思議な欄間。光と影の見え方で違う形が浮かび上がります。



国宝 多宝塔

「日本の3大名塔」の1つ。鎌倉時代末期の作で、塔のバランスの良さの他にも、華麗な装飾にも注目。塔のどこかに「邪鬼くん」がいるから探してみよう！



あれが邪鬼くんかな？



聖徳太子三尊像

きれいな仏様や宝物が大切に展示されています。浄土寺の開基とされる聖徳太子の三尊像や、足利尊氏像、源氏物語絵扇面散屏風、文殊菩薩(県重文)様や大日如来様を拝見する事が出来ます。(拝観料400円)

宝物館



東京物語の灯籠

映画「東京物語」に出てくる灯籠です。今でも写真を撮りに来られる方もいらっしゃるほどです。



願い石

やった一回つたよ！

江戸時代後期に生きた、尾道出身の横綱「陣幕久五郎」が奉納した石。この石がゴロゴロ回ると願い事が叶うといわれます。



奥の院

浄土寺さんの後ろにある浄土寺山を登ると、尾道水道が一望できる絶景ポイントがあります。ここは花火や初日の出などで毎年たくさんの方が来られます。



ビューポイント

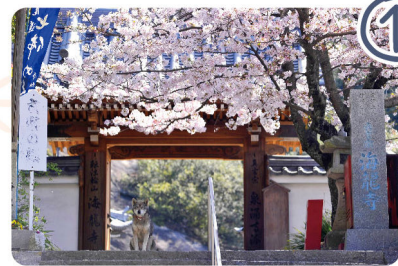
浄土寺の中で一番景色の美しいとされるポイント。浄土寺さんに来たら、一度は見てみたいポイントの1つ。



まあひといきついて、行きんさいや〜 ようこそお参り〜海龍寺編〜

ご利益
技芸上達
祈願

海龍寺さんのお参り方法



山門で一礼をしてから向かいましょう。

②



ワニグチを叩いたら、五色の紐を小指にかけて手を合わせましょう。この紐は観音様と繋がっているの、観音様をととても近くに感じられます。



①



境内を奥に進むと「文楽の墓」があります。右側のお経塚をなでながら、念じると技芸が上達するといわれています。



③

④



ご朱印をいただきます。

ご朱印は全て揃いましたか？満願成就をすると、もれなく御住職様より“あめちゃん”が頂けちゃうかも！



文楽について。

江戸時代の尾道は、北前船の寄港によって大変栄え、文化に華が咲きました。その時、尾道の豪商達が京都から浄瑠璃の文楽軒と初代竹本弥太夫を招き、楽しんでいました。二人の没後、弟子達が慕って供養塔を建てたのが、この「文楽の墓」なのです。

空色縞瑪瑙
(ブルーレース)

祝！満願成就！！



どこにおみくじがあるの?!と、一瞬思いますが、だるまの下から出ている五色の紐を引っ張ると、おみくじと一緒に出てくるユニークな仕組み。お顔も一つ一つ違うので、どれにしようかしばく迷う人もしばしば。



全庁寺で朱印をされた方には、最後のお寺で「満願成就」の印を押し、紙掛け軸をプレゼント！



柴灯護摩

毎年10～11月の吉日
※お気軽にお問合せ下さい

くさり山を護る「蔵王権現」さまに、一年の無事をよろこび、明日への元気の為に(火渡りをして)願い、祈る法要です。



初護摩祈願会

毎年1月3日

1年の無病息災を願い、ご祈祷が行われます。この日だけ、御開帳されて観音様のお姿を拝見出来ます。



地藏堂

海運業が発達した尾道で、ひっそりと海の安全を見守って下さっているお地藏様がいらっしやいます。境内には、他にも様々なお地藏様がいらっしやいます。どんなお地藏様がいらっしやるのかな。



大盤石

境内後ろにそびえる巨大な石の山。尾道は良質な花崗岩に恵まれており、中でもこの大盤石は特に珍しいといわれます。

なんとこの岩、1枚の岩なのです！



鎖岩

ご自由に
お登り下さい。

石の町としても有名な尾道の中でも、海龍寺さんの鎖岩は、ピカイチに珍しいスポットの1つです。まずは登り切る事がオススメ。いくつかある難所が登りきれたらスゴイ！苦手な人には脇道が準備してあるので大丈夫。くれぐれも怪我には気を付けて！

見どころスポット